

すこやか はぐくみ

民間保育所の整備など



子育て支援事業をより一層充実させていきます

「すこやか・はぐくみ」については、子どもたちの夢ははぐくみまちづくりを進めます。教育環境の整備については、学校施設の耐震化を着実に進めていきます。また、児童急増対策として、小学校の増設や、仮設校舎を設置するほか、小・

中学校4校にエレベータを設置します。保育所の待機児童解消策として、民間保育所4カ所の整備に取り組みとともに、賃貸物件の活用や保育ルーム2カ所の新設

を行うほか、定員の弾力的運用を継続します。就学前児童の教育・保育を一体的に提供する「認定こども園」の設置に向けて、引き続き検討を進めていきます。留守家庭児童育成センターについては、平日の利用時間を午後7時まで延長するなど、サービスの拡充を図ります。また、市内の大学や児童館・児童センターにおける子育て支援事業を拡充するとともに、国や県と連携し、中学3年生までを対象とした子ども手当や、父子家庭への児童扶養手当を支給します。

あんしん あんぜん

中学3年生まで医療費無料化など

「あんしん・あんぜん」については、福祉の心豊かな温かいまちづくりを進めます。乳幼児等医療費については、7月から中学3年生までの医療費を無料にするなど拡充を図るとともに、国民健康保険料について、コンビニエンスストアですべての納付を行うことがで

きるようにします。高齢者の福祉については、特別養護老人ホームの入所待機者解消に向け、2カ所の施設整備について補助を行うほか、既存の認知症高齢者グループホームがスプリングクラスを設置する費用について補助を行います。障害のある人の福祉については、知的障害者入所更生施設「一羊園」の建て替え整備への補助を行うほか、国の制度改正に伴い、障害福祉サービスおよび補装具に係る低所得者の利用者負担について軽減措置を図ります。

また、高齢者や障害のある人の権利擁護に関する相談窓口の開設に向けた取り組みを進めていきます。市民の健康づくりについては、鳴尾地区の保健サービスの拠点となる保健福祉センターを開設します。また、女性特有の



新型インフルエンザなどの危機事象に備えた体制の強化を図ります

がん検診の節目年齢者を対象とした、子宮頸（けい）がん・乳がん検診を、引き続き無料で実施するとともに、制度の普及啓発に努めていきます。中央病院については、「改革プラン」を着実に推進するとともに、施設の老朽化対策や耐震化、さらに立地の問題など諸課題を解決するため、総合的な観点から検討を進め、新年度には、今後の方向性を明らかにしていきます。また、市民が安心して暮らせるまちづくりを進めます。

今後起こり得る、あらゆる災害や新型インフルエンザなどの危機事象に対し、組織一丸となって迅速かつ的確な対応が行えるよう、危機管理監などを新たに設置し、体制の強化を図っていきます。また、新年度に完成予定の防災行政無線システムを有効に活

用し、緊急災害時などの迅速・確実な情報提供に努めていきます。消防については、年次計画に基づいて増員を図るとともに、鳴尾消防署の増設を行うなど、消防力の充実に努めていきます。都市施設の整備については、阪神本線連続立体交差事業の推進を図るとともに、阪神甲子園駅周辺整備計画の検討に着手します。また、JR甲子園口横断地下道などのバリアフリー化事業や、市役所前線などの都市計画道路の整備を進めていきます。橋りょうについては、耐震対策や計画的な修繕による長寿命化を図ります。さらに、放置自転車対策として、JRさくら夙川駅等で自転車駐車を整

うるおい かいてき

太陽光発電設備の設置補助など

「うるおい・かいてき」については、花と緑いっぱい美しいまちづくりを進めます。市内主要駅前広場の形成に努めるほか、「ふるさと西宮・甲子園寄付金」を活用した甲子園球場周辺の環境整備事業などを

実施します。現在策定中である地球温暖化対策の実行計画に基づき、個人住宅向けの太陽光発電設備の設置に対する補助や、甲山自然の家の環境に配慮した改修などを行うほか、容器包装リサイクル法に定める、その他プラスチック容器の分別収集再資源化の取り組みを進めていきます。「都市計画マスタープラン」については、市民、事業者、行政が協働して、地域の特性を生かしたまちづくりを進めるよう、見直しを行います。良好な市街地の形成に向けては、阪急西宮北口駅の周辺地区において、阪急今津線の立体交差事業の実施により、道路交通の安全や円滑化を図るほか、津門川の修景整備や交差点の改良を行います。

にぎわい そうぞう

外部人材による観光事業企画など

「にぎわい・そうぞう」については、産業活力とにぎわいのあるまちづくりを進めます。「都市型観光推進計画」の策定に取り組みとともに、外部人材を登用し、西宮の魅力を生かした観光事業を企画します。また、観光ボランティアガイドの

育成を図るほか、この3月にオープン予定の「甲子園歴史館」周辺を組み込んだ酒蔵地帯無料巡回バスへの運行補助を行うなど、もてなしの仕組みづくりを強化します。地域産業のさらなる活性化に向け、ものづくり企業等への総合的なコーディネートを通じた支援や、商店街・小売市場の商業振興策に対する支援を行うほ



まちのにぎわい創出に向けた取り組みを進めていきます

か、卸売市場整備のための検討を引き続き進めていきます。また、厳しい雇用情勢を受け、県の基金を財源とする、緊急雇用対策や若年者等の就労支援を実施します。農業については、インターネットによる西宮産農産物情報の発信などにより、地産地消拡大の取り組みを、引き続き進めていきます。

計画の推進

第三セクター等の抜本的改革など

「計画の推進」については、改革を継続し市民主体のまちづくりを進めます。今後の財政収支の状況を見極めたうえで、行財政対策を進め、財政基盤の安定化に努めていきます。また、行政マネジメントシステムの構築を進めることともに、公共施設の適正な維持

管理や全市民的な視点に立った配置などを検討する公共施設マネジメントに取り組みます。地方分権の進展など自治体を取り巻く環境の変化に、積極的かつ柔軟に対応できるように、職員意識改革に努めていきます。外郭団体については、引き続き新公益法人制度に基づく取り組みを進めます。また、西宮都市管理株式会社をはじめとする第三セクター等については、総務省通知に基づき、抜本的改革に努めていきます。電子自治体の推進については、「心かよう 開かれた電子自治体」の実現に向け、次期「情報推進計画」の策定に取り組みを進めます。市税の賦課・徴収については、国税との連携強化などを目的とした課税システムの再構築を行います。